

◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 28 年度第 2 回)

議 事 録

2016 年 11 月 2 日 (水) 開催

時 間	15:00～17:00		場 所	地盤工学会会議室	
田 中 委 員 長	○	亀村オブザーバー	×	山 口 (恵) 委 員	×
西岡オブザーバー	×	熊 野 委 員	○	渡 邊 委 員	×
清 木 委 員	○	隅 倉 委 員	×	高 原 委 員	○
片 岡 委 員	×	山 口 (智) 委 員	×	小 林 委 員	○
鳥 巢 オブザーバー	×	藤 澤 委 員	○	平 永 委 員	○
藤 田 オブザーバー	○				

○ : 出席 × : 欠席

議事録担当者の選出

平永委員(28-1) → 藤澤委員(28-2) → 山口(智)委員(28-3) → 山口(恵)(28-4)

前回議事録の確認

【別紙 - 1】 pp.1～ 2

【議 題】

【報告事項】

1. 会員支部部会の動き (田中委員長)

平成 2 8 年度 本部・支部連絡協議会議事録

【別紙 - 2】 pp.3～6

第 3 回会員支部部会議事録

【別紙 - 3】 pp.7～9

- ・事業予算案は田中委員長から提出済み。
- ・学会HPの更新は、来年4月の大幅リニューアルに向け、年明けには変更が出来なくなるため、熊野委員より伊佐治さんにスケジュールを確認する。

2. 土木学会などの動き (田中委員長)

情報処理学会誌

【別紙 - 4】 pp. 10～11

男女共同参画学協会連絡協議会シンポジウム

【別紙 - 5】 pp.12～

- ・地盤工学会で女性のための賞を創設することについて、以下の案・意見が出された。
 - ・女性に限らず、ダイバーシティ関連・活動の賞として創設する。
 - ・審査をダイバーシティ委員会で行う。
 - ・何を点数化するかが課題。(子育て、介護をどう加味するか)
 - ・職務内容で賞を分ける(研究、業績など)。

3. 2016 年度 全国大会 特別セッション, サロン・土・カフェ W

○特別セッション：(片岡委員, 山口(智)委員)

【別紙 - 6】 pp. ～

開催報告

○サロン・土・カフェ W：(高原委員, 藤澤委員)

【別紙 - 7】 pp. ～

開催報告

- ・特別セッション、サロン含め、参加者に関して、以下の案・意見が出された。
 - ・30 代の参加者増に向けては、意識改革が必要。上司など上の方に言ってもらう。
 - ・留学生を含め、外国籍の方を呼び込み、つながる場・機会としたい。
 - ・留学生への参加勧誘は先生経由になる。発表がないと同行させにくい。
- ・サロンで出された情報発信・共有の要望について、以下の案・意見が出された。
 - ・講師や時期、現場見学の場所がかぶるなどの問題が生じている。
 - ・本部・支部の情報が別々になっており、情報の集約・コントロールができていない。
 - ・情報の見える化が必要。
 - ・本部行事の情報を得てから、支部の行事を決めるなど工夫が必要。

- ・他学会の情報もあると良い。
- ・その他
 - ・開催時間について、昼食時間が良いのではという意見が出された。開催時間の変更については、次年度の課題とする。

4. 技術者紹介 WEB 版（清木委員・藤澤委員） 【別紙 - 8】 pp. ～
 状況報告
 ・3名の方に、執筆依頼を行った。

6. 委員会 HP の更新（熊野委員） 【別紙 - 9】 pp. ～
 現状確認、今後の更新について
 ・委員名簿について、熊野委員から各委員に連絡し、所属を確認する。
 ・議事録は、委員会の承認後、伊佐治さんに連絡し、(案)を取ったものを掲載する。
 ・行事案内や主旨などの各項目をHPの頭に置いて、そこから目的の場所に移る、スクロールするように配置すると見やすいのではとの意見が出された。

7. サポーターメール配信（小林委員） 【別紙 - 10】 pp. ～
 配信状況報告、今後の予定について
 ・10/26 にサイエンスアゴラの開催案内を配信済み。
 ・開催の状況、結果の報告を、お礼を兼ねて配信していく予定。→今後の課題

【審議事項】

1. メンター制度について（高原委員・田中委員長） 【別紙 - 11】 pp. ～
 座談会を受けて（意見交換）、レポート取りまとめ方針の決定
 ・熊野委員から、高原委員にPPTを送付する。
 ・その他、メンター制度について以下の意見・案が出された・

- ・サロンでメンター、メンティーのマッチングを行う。
- ・中小企業や女性・外国人の少ないところでは有効。
- ・シニア会員が必ずしもメンターに適するとは限らない。
- ・メンターの心得を作成する必要がある。
- ・メンター制度のメリット、デメリットを挙げてまとめる。
- ・日本の場合は、メンターは複数にした方が良くもかもしれない。

2. シルバー会員減免制度について
 ・以下の意見・案が出された。

- ・シニア会員は、続けるメリットがあれば続けるのではないか。
- ・赤字が出ない程度(例：1,200円)の割引ではどうか。→web版学会誌が軌道に乗るかが課題
- ・減免制度実施後、どう評価するかが課題。

3. 次回開催日の確認： 2017年3月1日（水）

2016年度第1回 2016年7月8日
 第2回 2016年11月2日
 第3回 2017年3月1日（来年度役割分担、座談会日程決定、全国大会（7月）
 DS登壇者）
 第4回 2017年5月 日（座談会、全国大会、夏の学校…詳細審議）

以上